

CKD(慢性腎臓病)って どんな病気？



8

メモ



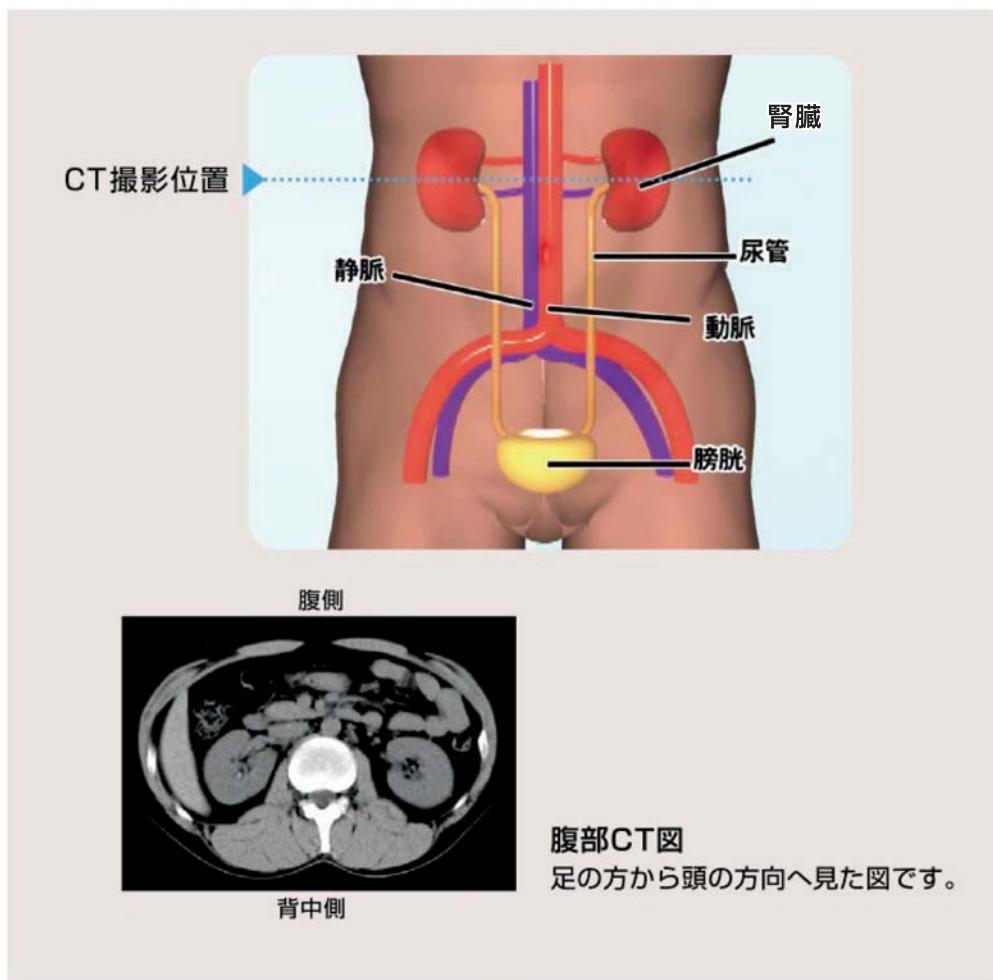
目 次

1. 腎臓はどこにあるの？
 2. 腎臓の働き
 3. CKDとは
 4. CKDの症状は？
 5. CKDの重症度分類 (2012)
 6. CKDと心血管疾患の関係
 7. CKDと透析の関係
 8. CKDの治療と予防
 9. CKDは新たな「国民病」
- 最後に

1 腎臓はどこにあるの？

腰のやや上の位置にあり、そらまめのような形で、左右一対あります。

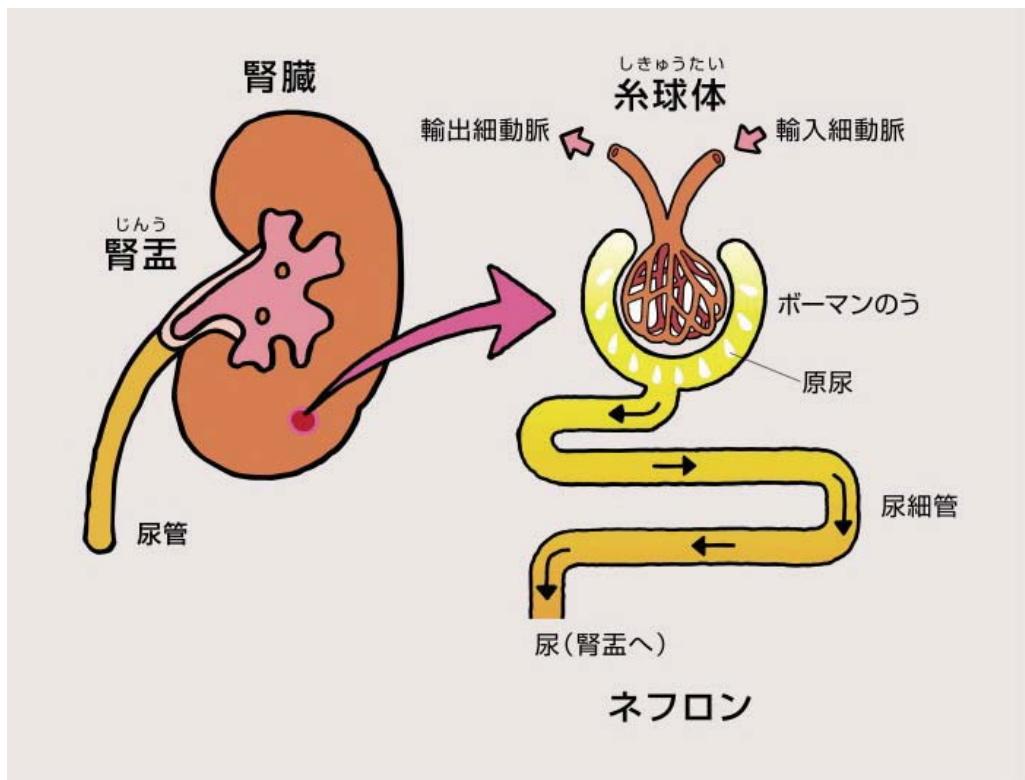
握りこぶしぐらいの大きさで、重さは約150gです。



日本腎臓学会「腎不全 治療選択とその実際」から転載(一部改変)

2 腎臓の働き

- 水分の調節
- 電解質（ナトリウム、カリウムなど）の調節
- 老廃物の排泄
- 血圧の調節
- 造血ホルモンの分泌
- 骨を強くするビタミンDの活性化



日本腎臓学会「腎不全 治療選択とその実際」から転載

3 CKDとは

CKDとは慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease）のこととで、下記のいずれか、または両方が3ヶ月以上持続した状態です。

腎炎など腎臓の病気の他に、糖尿病、高血圧、メタボリックシンドロームなどの人がCKDになりやすいです。

■蛋白尿などの尿検査異常

尿異常、画像診断、血液、病理で腎障害の存在が明らか。特に0.15g/gCr以上の蛋白尿(30mg/gCr以上のアルブミン尿)の存在が重要。

■推定糸球体濾過量(eGFR)が60mL/分/1.73m²未満の腎機能低下

糸球体濾過量とは、腎臓のすべての糸球体によって血液から濾過された血漿(血液の中の液体成分)の量です。

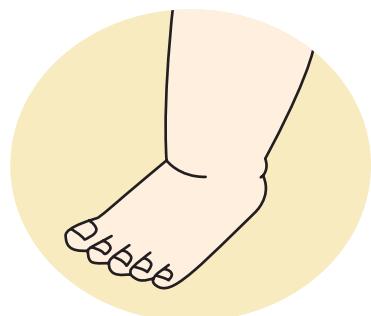
4 CKDの症状は？

CKDの初期には、ほとんど自覚症状がありません。

貧血、疲労感、むくみなどの症状が現れたときには、病気がかなり進行している可能性もあります。



貧血



むくみ



疲労感

5 CKDの重症度分類(2012)

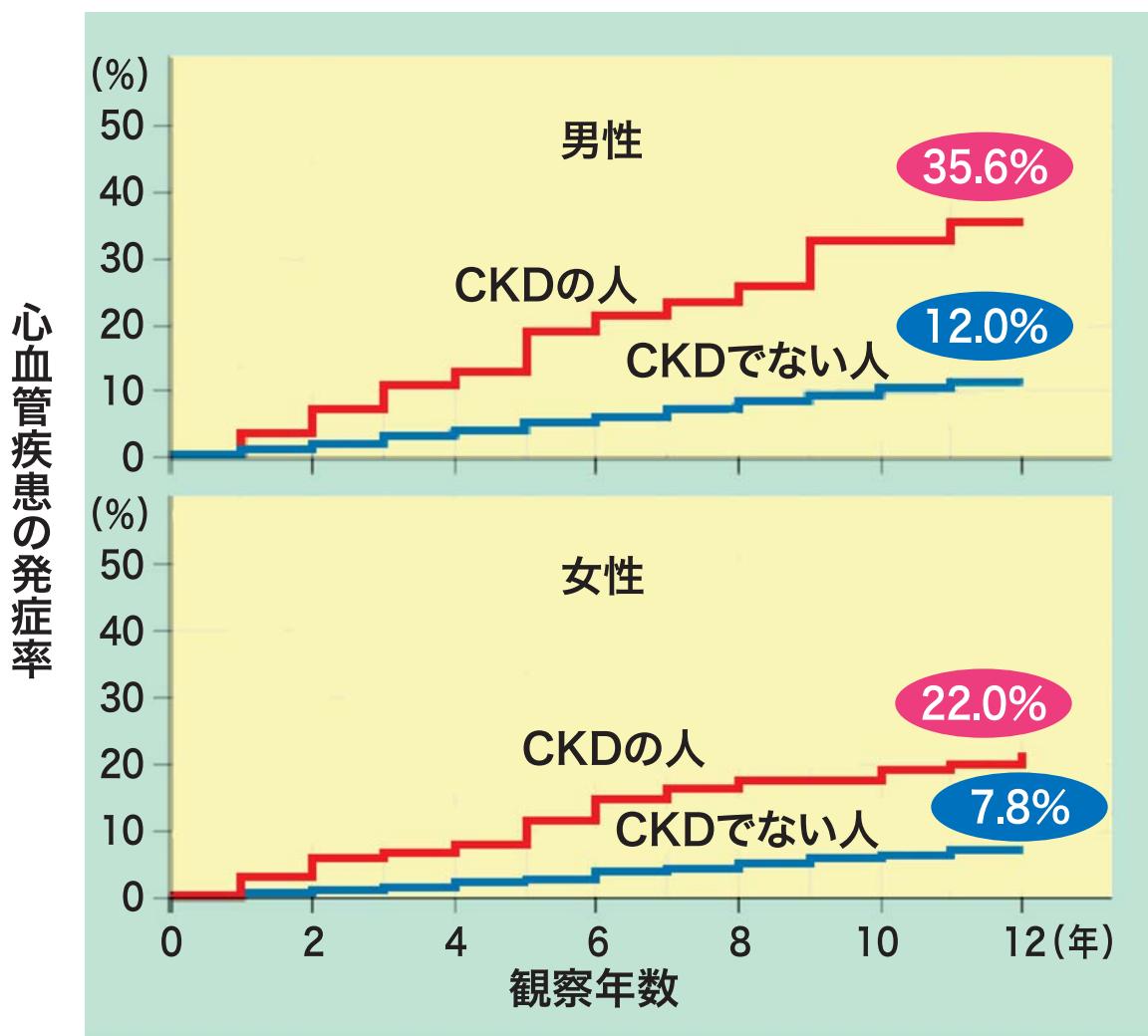
原疾患	尿蛋白区分		A1	A2	A3	
糖尿病	尿アルブミン定量		正常	微量 アルブミン尿	顕性 アルブミン尿	(改変追加)
腎炎など	尿蛋白定量		正常	軽度 蛋白尿	高度 蛋白尿	残された 腎臓の働き
GFR	G1	正常または高値	>90			
	G2	軽度低下	60~89			
	G3a	軽度～中等度低下	45~59			
	G3b	中等度～高度低下	30~44			
	G4	高度低下	15~29			
	G5	腎不全	<15			

重症度は原疾患、GFR区分、尿蛋白区分を合わせたステージにより評価する。CKDの重症度は、緑のステージを基準に、黄、オレンジ、赤の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

(KDIGO CKD guideline 2012を日本人用に改変)
日本腎臓学会編「CKD診療ガイド2012」：東京医学社

6 CKDと心血管疾患の関係

CKDがある人は、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患になりやすくなります。



CKDの有無と心血管疾患の発症率(久山町研究より)

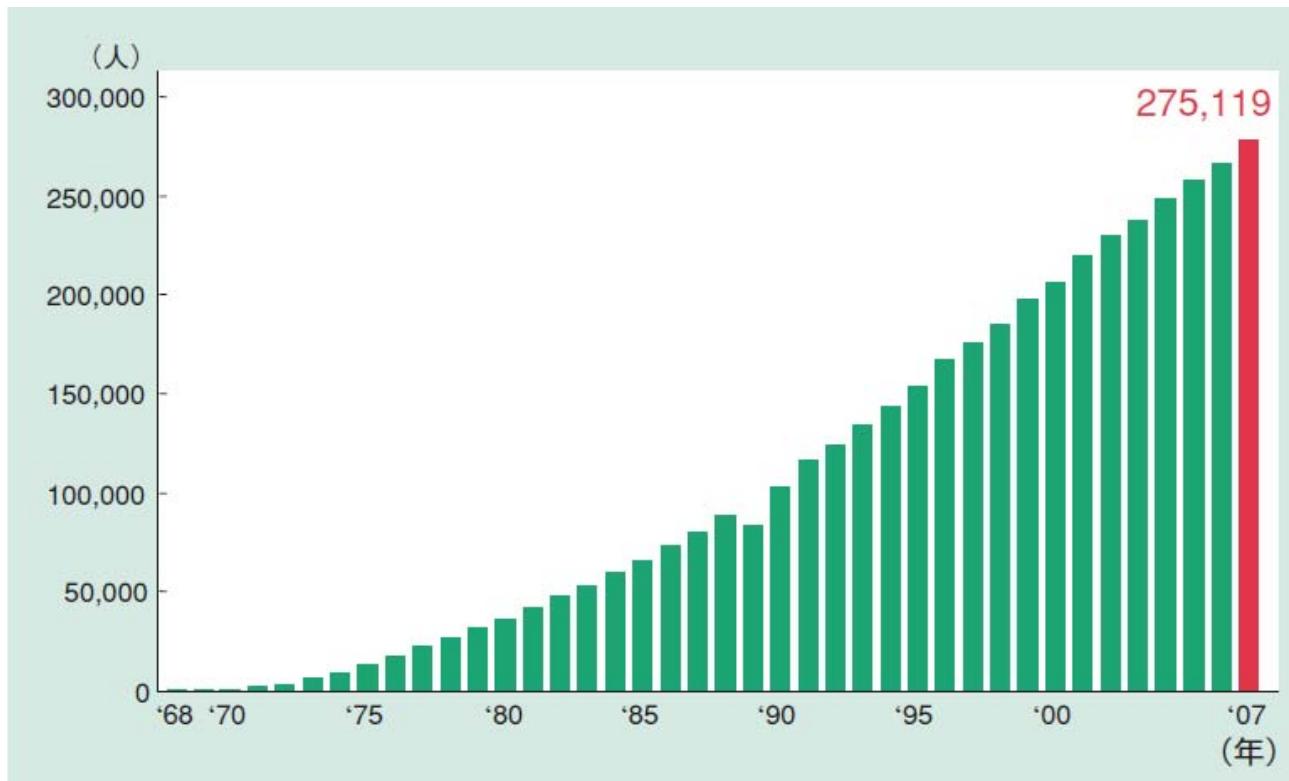
日本腎臓学会編「CKD診療ガイド2009」東京医学社より一部改変

7

CKDと透析の関係

腎機能低下が進行すると透析治療が必要となります。

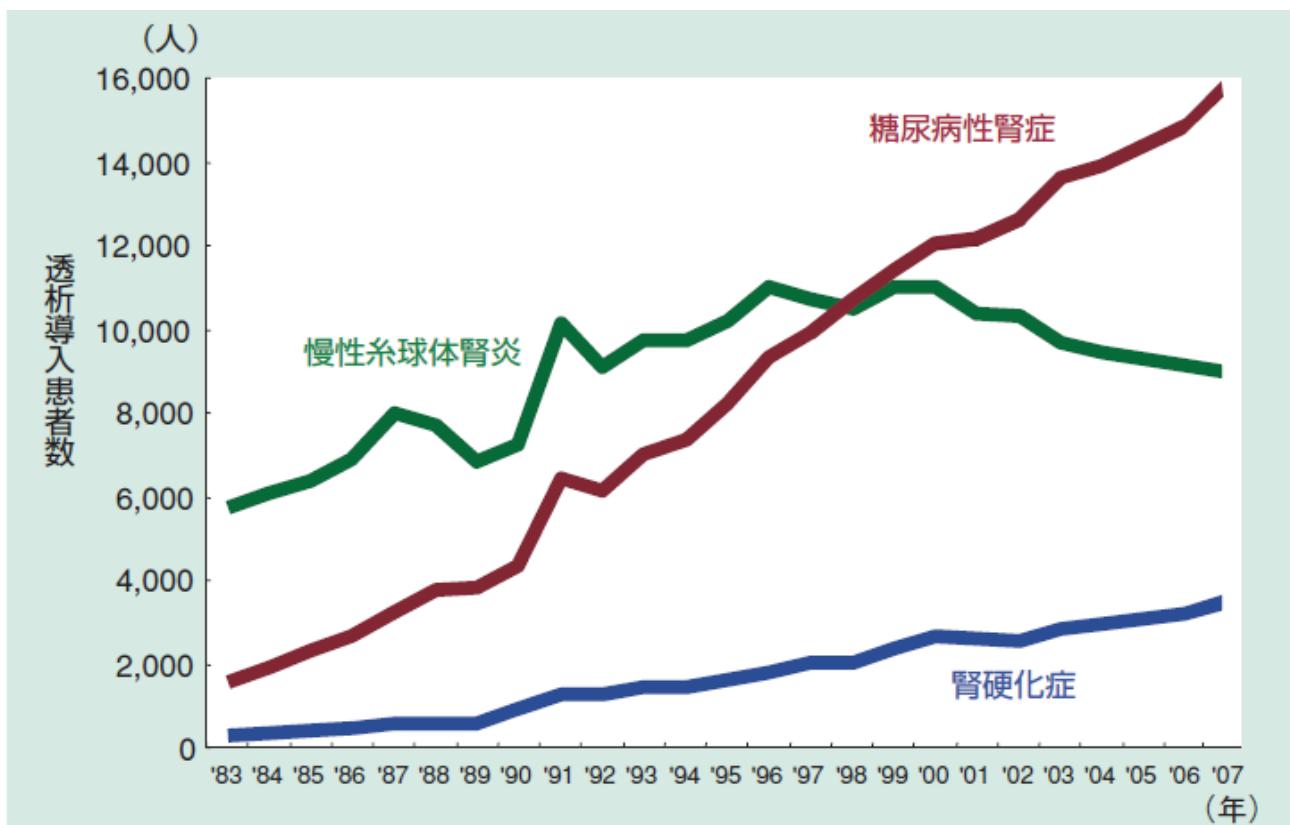
透析患者総数は毎年増加しています。CKDは透析の予備軍です。



わが国における慢性透析患者総数の推移

日本透析医学会編 図説 わが国の慢性透析療法の現況(2007年12月31日現在)より引用

特に糖尿病性腎症のため、透析が必要になる患者数の増加が特徴的です。



透析導入患者数の推移(主要原疾患)

日本透析医学会編 図説 わが国の慢性透析療法の現況(2007年12月31日現在)より引用

- * 糖尿病性腎症…糖尿病からくる腎障害
- * 慢性糸球体腎炎…血尿、蛋白尿、高血圧を伴う腎障害(IgA腎症など)
- * 腎硬化症…高血圧や動脈硬化に伴って起こる腎障害

8 CKDの治療と予防

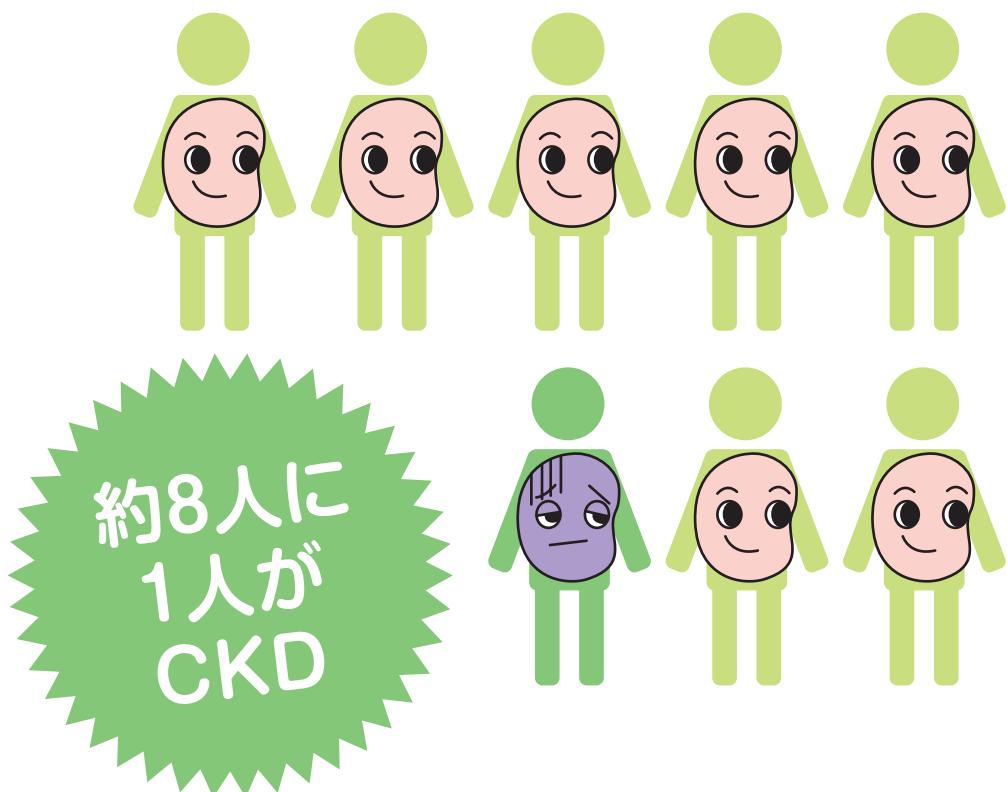
- 生活習慣改善（禁煙、肥満是正）
- 食事指導（減塩、蛋白制限）
- 血圧の管理
- 血糖の管理
- 脂質の管理



9 CKDは新たな「国民病」

CKDの患者数は約1,330万人と推定され、成人の約8人に1人はCKDです。

CKDは、新たな「国民病」と言われています。



最後に

CKDは、自覚症状のないまま徐々に腎機能が低下していく病気です。

早期発見が大切ですので、定期的に尿検査や血液検査を受けましょう。



イラストは以下より引用

熊本市健康づくり推進課 CKD(慢性腎臓病)ホームページ
日本慢性腎臓病対策協議会ホームページ
東京都福祉保健局ホームページ「ほっとけないぞ！CKD慢性腎臓病」



毎年3月の第2木曜日は世界腎臓デーです

毎月7日は県民健康の日